

ります。そこにノアの大洪水の話の最も大きな価値があるといへませう。

大洪水が過ぎ去つたのち、ノアとその子らによつて、新らしい人類の世界が創められました。ノアの仕事の中で、たゞ一つ録されてあるのは、はじめて葡萄をつくつたことでもあります。特に葡萄をつくつたといふことをのみこゝに記録したことは、興味深い點であります。これは遊牧時代より農耕時代に移りつゝあつたイスラエル民族の生活が、聖書の資源的斷片に反映してゐるものでもありませう。イスラエル民族の生活と葡萄といふものが最も密接な關係のあることを、ノアに於て發見するのは面白いことでもあります。『われは葡萄の樹なんぢらはその枝なり。』と救世主によつて譬へられた葡萄、『かの葡萄園をそこなふ小狐をとらへよ、われらの葡萄園は花盛なればなり。』と雅歌にうたはれた葡萄、それが太祖ノアによつてはじめて栽ゑられたといふ傳説は、ことに面白く感ぜられます。

ノアの醉態を見て、三人の子どものとつた態度、これに對するノアの祝福と呪ひ、まことに面白い教訓であります。これについては尙くはしく第二卷において述べてあります。

バベルの塔の傳説は、人類の遷移と、人種の分布を面白く説明したものであります。人間の心には郷土に執着する心と、新らしい世界にあこがれる心とが、共に存在して居ります。古代のセム人は、異郷に足を踏み出すことを以て、神から離れることのやうに考へておりました。カインは其の父母の地を追はれて、

『視よ汝今日斯地の面より我を追ひ出し給ふ。我汝の面を見ることなきに至らん。我地に彷徨ふ流離子とならん。』

と嘆きました。バベルの塔をたつるに當り、人々の心を動かしたのは、

『全地の表面に散ることを免れん。』

といふ願ひでありました。然るにもかゝはらず、人間は常に新しい世界を求めて大遷移を行つて居ります。人類の故郷は中央亞細亞の高原地方で、長い世紀の間に全世界にわたり、幾十百回の大遷移が行はれたものであると、學者は想像して居ります。その歴史に現れたものも、少くはありませぬ。郷土に對する執着と、新世界に對する憧憬、人種言語の相異、人類の大遷移運動、それらの原因を、童話的に説明したものとして、バベルの塔の話は甚だ面白いのであります。

バベルの塔の類話も亦バビロニアに發見せられて居ります。而して之とは遙か隔たりたるメキシコに同じ話の發見せられたのも面白いことであります。それはチヨルラの三角塔に關するもので、土人の傳説によれば、大古の人々は、この地方の風景の美しきを愛し、こゝに塔をたてて、天に達せしめんとしましたが、天の神々はその潜越を憤り、塔を毀ち、人々を散らしたといふのであります。しかしこの説話が、キリス

ト教の説話から脱化したものでないとは斷言出来ぬのであります。

古代建築物の探査によつて、バベルの塔の遺跡を知らうといふ學者たちもあります。博學なるユダヤ人エデルシャム博士は、古バビロンの場所より西南五六マイルを距つるベルスニムラドを以てバベルの塔であるとして居り、またバビロンにあつたベルメロダクの宮殿を以て之に擬するものもあります。

尙創世記第十一章に、

『エホバ降臨りて彼の人衆の建つる邑と塔とを見たまへり、エホバ言ひたまひけるは、視よ民は一にして皆一の言語を用ふ、今既に此を爲し始めたり、然らば凡てその爲さんと圖惟ることは止め得られざるべし、いざわれら下り、彼處にて彼等の言語を淆し、互に言語を通ずることを得ざらしめん。』

といふ句がありますのは、前にも述べたごとく、當時の幼稚なる神人同視的觀念の残りたるもので、今日の子供が讀んでは合理的ではありませんから、之を除きましたこ

解 說

とを附記して置きます。

之を要するに、創世記の創造譚や洪水譚は、多くの點に於て、他民族の神話に類似した『筋』をもつて居りますけれども、其の『本質』に於て、自然神話でなく、汎神的でなく、多神的でなく、また不道德的でなく、一神的信仰と、『聖』の觀念とのあらはれである點に大きな特長があります。單に外形の類似といふことによつてその精神の相異を見通がし、玉石を混淆するべきものではありません。世界の如何なる傳説文學に於いても、宗教的教訓と情趣の豊かなることに於いて創世記に及ぶものは無いと言つてもよいのであります。

—(終)—

昭和十一年十月十日印刷
昭和十一年十月廿日發行

『聖書物語』第一卷

アダム・ノア

著者 蘆谷 蘆村

發行者 佐藤 元重
東京市神田區錦町一ノ六

印刷者 井坂 信太郎
東京市京橋區湊町三ノ十一

發行所 基督教出版社
東京市神田區錦町一ノ六

電話神田三五一四
振替東京一四五三

定價十七錢 (預約期中間限) (特價五錢)

聖書物語總目錄
基督教文庫

12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
大預言者	エリヤ、エリシヤ	ソロモン	ダビデ	サムエル	士師(下)	士師(上)	モーセ	ヨセフ	ヤコブ、エサウ	アブラハム	アダム、ノア
野邊地天馬	上澤謙二	横山美智子	冲野岩三郎	西阪保治	同	蘆谷蘆村	三浦關造	岩村安子	高崎能樹	同	蘆谷蘆村

24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13
新約外典	パウロ	使徒	イエス(下)	イエス(上)	マカビス	舊約外典	エズラ、ネヘミヤ	ダニエル	ヨブ	エステル、ルツ	小預言者
吉田源治郎	上澤謙二	徒齋藤敏夫	同	上澤謙二	鍵田研一	蘆谷蘆村	日高善一	上澤謙二	賀川豊彦	村岡花子	野邊地天馬

355
991

終



基督教出版社